

講義科目名称：助産学概論

授業コード：6630300500

英文科目名称：Introduction to Midwifery

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	助産師必修
担当教員			
◎常盤洋子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間				
	【担当教員】 【氏名】 ◎常盤洋子	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 320 【メールアドレス】			
	【本学の科目区分】 専門分野					
	【D P 1】 ○	【D P 2】 ◎	【D P 3】 ◎	【D P 4】 ◎	【D P 5】 ◎	【D P 6】 ○

到達目標	1. 助産の概念（助産・助産師の定義、助産の意義）を述べることができる。 2. 助産師の役割と責務と助産援助の展開を述べることができる。 3. 助産実践の基盤となる理念と理論、助産の対象者を理解するための理論を説明することができる。 4. 助産師の専門性と職業倫理を述べることができる。 5. 助産師の業務上の態度とアイデンティティ、助産観について考えを述べることができる。
授業概要	助産の概念と意義、助産の歴史と母子保健の変遷、助産師教育の変遷、助産師の専門性と職業倫理など自律的に助産を実践するための知識を深め、時代に適応した助産師の役割と責務について学修する。さらに助産実践の基盤となる理論や助産学研究についての理解を通して専門的自律能力を発揮して自律的な助産が実践できる能力と助産師としてのアイデンティティを獲得する。

授業計画	1	授業内容 講義形態：講義 学修課題：助産の概念 学修内容：助産・助産師の定義、助産の意義と助産師の活動 備考：常盤
	2	授業内容 講義形態：講義 学修課題：助産師の役割と責務 学修内容：助産ケアの実践における助産師の役割と責務 備考：常盤
	3	授業内容 講義形態：講義 学修課題：助産実践の基盤となる理念と理論(1) 学修内容：助産ケアの基盤となる理論（女性中心のケア、家族中心のケア） 備考：常盤
	4	授業内容 講義形態：講義 学修課題：助産の対象者を理解するための理論(2) 学修内容：助産師が行うケアのセルフセルフケア、アタッチメント、母親役割、出産体験、危機、家族移行) 備考：増澤
	5 - 6	授業内容 講義形態：講義・演習 学修課題：助産の歴史 学修内容：歴史に学ぶ助産師の役割と責務 備考：常盤
	7 - 8	授業内容 講義形態：講義・演習 学修課題：助産教育の変遷 学修内容：助産師教育の変遷から見えてくる助産師の役割とカリキュラムの変遷 備考：常盤
	9	授業内容 講義形態：講義 学修課題：助産師の専門性と業務 学修内容：助産師の定義と職分、助産師の専門職性の発揮 備考：増澤
	10	授業内容 講義形態：講義

	学修課題：助産師の職業倫理(1) 学修内容：医療訴訟に見る助産師の責任 備 考：増澤 授業内容 講義形態：講義・演習 学修課題：助産師の職業倫理(2) 学修内容：医療訴訟に見る助産師の責任 備 考：増澤
	11 授業内容 講義形態：講義・討議 学修課題：国内の助産師活動(1) 学修内容：助産師活動の実践と課題 備 考：増澤
	12 授業内容 講義形態：発表 学修課題：海外の助産師活動(2) 学修内容：助産師活動の実践と課題 備 考：増澤
	13 授業内容 講義形態：講義 学修課題：助産師のコアコンピテンシーと助産観(1) 学修内容：助産師のコアコンピテンシーと助産師のアイデンティティ 備 考：常盤
	14 授業内容 講義形態：討議 学修課題：助産師のコアコンピテンシーと助産観(2) 学修内容：助産師のコアコンピテンシーと助産師のアイデンティティ 備 考：常盤
事前・事後学習	事前学修：シラバスを精読し、授業内容についてテキストや国家試験問題集を確認しておくこと。 事後学修：助産師の役割と責務、助産師としてのアイデンティティについて学生間でディスカッションをし、自らの看護観・助産観を確認すること。
評価方法、評価基準	到達目標1～5に対して、筆記試験60%、プレゼンテーション・討議40%で評価する。
テキスト	工藤美子（責任編集）（2023）：助産師基礎教育テキスト 第1巻 助産概論・母子保健、日本看護協会出版会。
参考図書・資料等	我部山キヨ子・安達久美子（編）（2022）：助産学講座1 基礎助産学〔1〕助産学概論、医学書院。
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡する。 プレゼンテーション資料は人数分コピーし、授業前に配布する。 プレゼンテーション、ディスカッションは学生が進行する。
教員からのメッセージ	講義内容は、助産師基礎教育テキスト、助産師国家試験出題基準、助産師国家姿年問題集で確認する。 授業を通して、助産師の役割と責務、助産師としてのアイデンティティについて思考を深めることを期待する。
オフィスアワー	随時対応（メール調整）。